

インクルーシブ教育システム構築 のための特別支援教育



平成 26 年 3 月
沖縄県教育委員会

「合理的配慮」とは、

障害のある子どもたち一人一人の障害の状態や教育的ニーズに応じて決定される、学びを保障するために必要な支援（手立て）です。

- ※ 「何を優先して支援を提供するか」必要とされることを柔軟に組み合わせられます。
- ※ 学校、保護者、本人、教育委員会など関係者同士で共通理解を図る必要があります。
- ※ 支援が途切れることなく引き継がれていくものです。



合理的配慮には、いくつかのポイント（観点）があるんですよ。大きく3つの観点が挙げられます。

①教育内容・方法 ②支援体制 ③施設・設備

具体的には

合理的配慮の観点

合理①-1-1

学習上又は、生活上の困難を改善克服するための配慮

合理①-1-2

学習内容の変更・調整

合理①-2-1

情報・コミュニケーション及び教材の配慮

合理①-2-2

学習機会や体験の確保

合理①-2-3

心理面・健康面の配慮

合理②-1

専門性のある指導体制の整備

合理②-3

災害時等の支援体制の整備

合理③-3

災害時等への対応に必要な施設・整備の配慮

合理③-1

校内環境のバリアフリー化

合理②-2

幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮

合理③-2

発達・障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮

合理的配慮の例



【見やすさの工夫：書見（傾斜）台】教科書や資料など、固定して見やすくするための工夫として、書見（傾斜）台を活用する等の工夫が求められる。（例：視覚障害、肢体不自由、発達障害の場合）



【見通しを持たせる工夫】

児童生徒の認知特性から、一日の流れ、授業の流れなど、活動の見通しを持つことが困難な状況も考えられることから、黒板に一日の流れ、授業の流れを掲示する工夫が求められる。

（例：発達障害の場合）

合理的配慮を検討するとき、学校によっては、他の学校にはない施設・設備があったり、様々な専門性をもった人材が派遣されていることもあります。学校全体で活用を考えたうえで、環境やあらゆる人材を活かした合理的配慮を検討することが望ましいでしょう。



障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会を作っていこうよ！

沖縄県は、平成26年4月1日から、「沖縄県障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり条例（インクルーシブ社会条例）」が施行されます。

この沖縄の地で、障害による差別をなくし、共に豊かで平安に生活できる社会を作っていきます！

合理的配慮チェックリスト

※合理的配慮の11項目について、障害のある子どもの状態を適切に把握して、各学校の整備状況をチェックしてみましょう。

合理的配慮の観点		チェック
1	学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮をしている。	
2	学習内容の変更・調整の観点を示している。	
3	情報・コミュニケーション及び教材の配慮をしている。	
4	学習機会や体験の確保に努めている。	
5	心理面・健康面の配慮の観点を示している。	
6	専門性のある指導体制の整備に努めている。	
7	幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮に努めている。	
8	災害時等の支援体制の整備の観点を示している。	
9	校内環境のバリアフリー化に努めている。	
10	発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮に努めている。	
11	災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮の観点を示している。	

このリーフレットの作成にあたり、宮古地区・八重山地区の特別支援教育コーディネーター、文部科学省委託事業「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」のモデル協力校の先生方の御協力をいただきました。

合理的配慮を検討するとき、学校によっては、他の学校にはない施設・設備があったり、様々な専門性をもった人材が派遣されていることもあります。学校全体で活用を考えたうえで、環境やあらゆる人材を活かした合理的配慮を検討することが望ましいでしょう。



障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会を作っていこうよ！

沖縄県は、平成 26 年 4 月 1 日から、「沖縄県障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり条例（インクルーシブ社会条例）」が施行されます。

この沖縄の地で、障害による差別をなくし、共に豊かで平安に生活できる社会を作っていきます！

合理的配慮チェックリスト

※合理的配慮の 11 項目について、障害のある子どもの状態を適切に把握して、各学校の整備状況をチェックしてみましょう。

合理的配慮の観点		チェック
1	学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮をしている。	
2	学習内容の変更・調整の観点を示している。	
3	情報・コミュニケーション及び教材の配慮をしている。	
4	学習機会や体験の確保に努めている。	
5	心理面・健康面の配慮の観点を示している。	
6	専門性のある指導体制の整備に努めている。	
7	幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮に努めている。	
8	災害時等の支援体制の整備の観点を示している。	
9	校内環境のバリアフリー化に努めている。	
10	発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮に努めている。	
11	災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮の観点を示している。	

このリーフレットの作成にあたり、宮古地区・八重山地区の特別支援教育コーディネーター、文部科学省委託事業「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」のモデル協力校の先生方の御協力をいただきました。

「基礎的環境整備」とは、

合理的配慮の基礎となる環境整備のことをいいます。

基礎的環境整備を図るためには、障害のある子どもたち一人一人の障害の状態や教育的ニーズに応じて、学校の設置者（市町村・県教育委員会、私立学校）が考えていかなければなりません。その際、過度の負担を課さないものとされておりますが、基礎的環境整備を最大限活用し、できる限り合理的配慮の提供に努めることが必要です。



基礎的環境整備にも、いくつかのポイント（観点）があるんですよ。

具体的には

基礎的環境整備の観点

基礎1

ネットワークの形成
多様な学びの場の活動

基礎2

専門性のある
指導体制の確保

基礎3

支援計画・指導計画
の作成等による指導

基礎4

教材の確保
(17条本の活用)

基礎5

施設・設備の整備

基礎6

人的配置
(支援学級担任の任命)

基礎7

個に応じた指導・
学びの場の設定

基礎8

交流・共同学習の推進
(協力学級・支援学級
合同宿泊学習)

基礎的環境整備の例

基礎4



点字教科書

基礎5



トイレの手すり



点字ブロック

基礎6



支援員の配置



スロープ



エレベーター

なるほど！
一人一人の
状態を考えて、
学びやすい環境を
考えれば
いいのね！



合理的配慮を検討するとき、学校によっては、他の学校にはない施設・設備があったり、様々な専門性をもった人材が派遣されていることもあります。学校全体で活用を考えたうえで、環境やあらゆる人材を活かした合理的配慮を検討することが望ましいでしょう。



障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会を作っていこうよ！

沖縄県は、平成 26 年 4 月 1 日から、「沖縄県障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり条例（インクルーシブ社会条例）」が施行されます。

この沖縄の地で、障害による差別をなくし、共に豊かで平安に生活できる社会を作っていきます！

合理的配慮チェックリスト

※合理的配慮の 11 項目について、障害のある子どもの状態を適切に把握して、各学校の整備状況をチェックしてみましょう。

合理的配慮の観点		チェック
1	学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮をしている。	
2	学習内容の変更・調整の観点を示している。	
3	情報・コミュニケーション及び教材の配慮をしている。	
4	学習機会や体験の確保に努めている。	
5	心理面・健康面の配慮の観点を示している。	
6	専門性のある指導体制の整備に努めている。	
7	幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮に努めている。	
8	災害時等の支援体制の整備の観点を示している。	
9	校内環境のバリアフリー化に努めている。	
10	発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮に努めている。	
11	災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮の観点を示している。	

このリーフレットの作成にあたり、宮古地区・八重山地区の特別支援教育コーディネーター、文部科学省委託事業「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」のモデル協力校の先生方の御協力をいただきました。